

## 集会案内

### 日曜日

礼拝 : 1:45pm-2:45pm

### 教会住所

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

### 地図



### ホームページ

[www.irvinihengokiyokai.org](http://www.irvinihengokiyokai.org)

### 榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

### 杉村宰牧師

電話(714)234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■ 「自由と不自由」

今回は「自由ほど不自由なものはない」と言う話をしよう。杉村牧師は何を言っているんだと思われるかも知れないが、まあ、まず聞いてください。

主イエスは「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で謙った者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやしく、わたしの荷は軽いからである」(マタイ11:28)と言われている。重い荷物を負っているのなら、わたしが休ませてあげよう、と言う思い遣りのある言葉に感激するのだが、その後、わたしのくびきを負いなさい、と言われている。くびきとは、牛や馬など二頭の家畜の首を横木で固定し、畑を耕させるための農具のことである。重荷を降ろした途端に、今度はくびきとなれば、まるで主の奴隷ではあるまいか。

ところが、である。自由になりたい、と言って人がすることといえば、他者の迷惑も顧みない勝手気ままな振る舞いである。極端な例が、隣国を欲しいから、それを奪い取ってしまおうという、ロシアによる今回のウクライナ侵攻であろう。多くの場合、人の自由は他者にとって迷惑千万。私たちは、自由には責任が伴うという鉄則を心得なければなるまい。自由という美辞麗句を掲げて、人類はこれまで果てしない戦争の道を性懲りもなく延々と歩んできたのだから。

さて、ここには「私のくびき」とある。主と共に重荷を負うという。私たちの重荷とは人間関係、金銭面、健康面であって、それに苦しまない人は一人もいない。一体、誰が好き好んでそれらを負うというのだろうか。私たちが罪という死から解放するために、自ら進んで十字架にかかられた救い主イエスなればこそ、おできになる事なのだ。自由気ままに飛び回りたい私たちを制するために、時には叱り、諫める時もあるだろうが、主とくびきを共にして歩むことによって、私たちは間違はなく、天国へと導かれてゆくのである。「真理はあなたがたに自由を得させる」(ヨハネ8:32)と主は宣言するが、真理ご自身であられる主によって、私たちは初めて自己中心から解放されて、主から来る愛、喜び、平和(ガラテヤ5:22)を経験する。主の傍らにこそ真の自由がある。

Rev. Tsukasa Sugimura

### 【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

### 【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。